

人を対象とする医学系研究に関する情報公開（オプトアウト）

当院では下記の臨床研究を実施しております。
この研究の対象者となることを希望されない場合は、下記の連絡先までお問い合わせください。

1. 研究管理番号（受付番号）
2023-010
2. 研究の名称
腎機能異常患者における適正な薬剤処方および投与量への介入
3. 試料・情報の利用目的及び利用方法 （他の機関へ提供される場合はその方法を含む。）
<p>わが国の成人 8 人に 1 人が慢性腎臓病（chronic kidney disease : CKD）であり、人口高齢化に伴って今後さらに増加することが予想されています。CKD 患者は、心血管疾患の高リスク群であり、大半が糖尿病、高血圧、動脈硬化などの生活習慣病関連の疾患をもっています。さらに悪性腫瘍、炎症性疾患、感染症などの疾患も CKD 患者では一般人口と同様か、それ以上の頻度で発症することが知られています。したがって、これらの治療ならびに経過中に発症する合併症などに対して必要な治療が行われ、様々な薬物治療を受ける機会も多いです。また腎臓の主たる機能は、尿を産生し、体内で生成される不要な代謝産物を排泄することです。CKD を含めたあらゆる疾患ならびにその合併症などの治療に使用される薬剤の多くは腎臓から排泄されます。そのため個々の腎機能に応じた薬剤の投与量や投与間隔の調節、ときには薬剤の中止の判断が必要となります。当院では腎機能の悪い患者様に対して適正な薬剤処方および投与量となるように、薬剤師が介入しており、本研究ではその効果を調査、検証することを目的としています。</p> <p>診療録データを用いて院内で収集した情報は匿名化し、城西国際大学へ集約して解析を行います。データの提供は、特定の関係者以外がアクセスできない状態で行います。</p>
4. 利用し、又は提供する試料・情報の項目
当院受診患者のうち、腎機能異常を認め投与量調節が必要な薬剤が処方されている患者様の診療録データを後ろ向き調査します。
5. 利用する者の範囲
セコメディック病院・城西国際大学

6. 試料・情報の管理について責任を有する者の氏名又は名称

業務推進部部长 薬剤師 長澤 宏之

7. 本研究に関するご連絡先

本研究に関する質問や確認のご依頼は、下記へご連絡ください。
また本研究の対象となる方またはその代理人より、診療情報の利用の停止を
求める旨のお申し出があった場合は、適切な措置を行いますので、その場合も
下記へのご連絡をお願いいたします。

所属： 薬剤部

氏名： 玉井 祐馬

電話：047-457-9900（施設代表）

その他の窓口：臨床倫理委員会事務局